

# 横田英史の 書籍紹介コーナー



## 「ユーザーフレンドリー」全史 ～世界と人間を変えてきた 「使いやすいモノ」の法則～

クリフ・クアン、ロバート・ファブリカント、  
尼丁千津子・訳  
双葉社 2,640円(税込)

ユーザーフレンドリー・デザイン、ユーザーエクスペリエンスの起源から現在までをたどり、人間中心設計やデザイン思考の原理原則と適用事例を紹介した書。使いやすさの本質とは何か、使いやすいモノとは何か、どのように実現するのかを詳説する。

ディズニースタジオやダイソンの掃除機、アーロンチェアなどを例に挙げながら、ユーザーフレンドリーなデザインの背景にある理念や原則、仮定について紹介する。個性豊かな人々、偶然の出来事、思想的な論争に焦点を当てながら、そもそも論にさかのぼって説明しており納得性に富む。

筆者はこう語る。優れたデザインは「芸術性で目立つものではなく、『行動のなかに溶け込む』ことで目立たなくなる」「人間に苦痛を与えている原因を見つけて取り除く」「すでに行っていることを、新しいモノを使うことで、よりうまくできるようにする」と。

## スマートマシンはこうして思考する

ショーン・ジェリッシュ、依田光江・訳  
みすず書房 3,960円(税込)

AIの進歩と社会に与えたインパクトを明快な語り口で解説した書。数式を使わず図や写真を効果的に用いて、ニューラ

ルネットや深層学習、GAN(敵対的生成ネットワーク)などAIの仕組みを定性的に解説する。仕掛けを作る能力と文章力は大したものである。研究者の成果をより理解しやすいかたちに並べ替え、整理することを執筆目標においた筆者の目論見は成功している。AIの歴史と進歩の過程を定性的に知りたい方に向く書である。

米Google 機械学習&データサイエンス・チームのエンジニアリング・マネージャーを務めた筆者は、オートマトンから本書を書き起こす。その後、自動運転、リコメンデーションエンジン、囲碁といった事例を取り上げ、ディープブルーやワトソン、AlphaGoなどのシステムでAIがどのように進歩していったかを解説する。

## 「役に立たない」科学が役に立つ

エイブラハム・フレクスナー、  
ロベルト・ダイクラーフ、初田哲男・訳、  
野中香方子・訳、西村美佐子・訳  
東京大学出版会 2,420円(税込)

アルバート・アインシュタイン、ジョン・フォン・ノイマン、ロバート・オッペンハイマーらが集った米プリンストン高等研究所の初代と現在の所長が、基礎研究・基礎科学の意義を説いた書。プリンストン高等研究所の設立趣旨である「役に立たない知識を誰にも邪魔されずに探求する」重要さがわかる。基礎研究が長い時間を経て、我々の社会や生活を変革した事例を、量子力学やコンピュータ、GPSなどを挙げて紹介する。

現所長のダイクラーフは、「研究が保守

的な短期目標を重視する方向へ危険なまでに傾いている」「予測可能な研究を高く評価し、先駆的な研究を低く見る」状況に警鐘を鳴らす。自由な発想と精神、探究心と好奇心、崇高な意志が感じられて爽やかな気分させてくれる書である。

## 反省記

～ビル・ゲイツとともに成功をつかんだ  
僕が、ビジネスの“地獄”で学んだこと～

西和彦  
ダイヤモンド社 1,760円(税込)

パソコン市場が熱かった時代の雰囲気をおまじく伝えた書。米Microsoftの副社長として同社興隆の礎を作り、日本でもパソコン黎明期に大活躍した西和彦が自らの半生を振り返っている。凄まじい突破力と先見性を発揮して時代を牽引したかと思えば、債務超過に陥りアスキー社長を追われたりと、毀誉褒貶の激しい半生を率直に語っており読み応え十分だ。

西を突き動かした原動力は、大成功をおさめ大富豪になったゲイツへの対抗心だったなど、数々の裏話をきっちり書き込んでおり、歴史的な価値もある。ビル・ゲイツとの出会いと友情、別離、MSXなどパソコン仕掛け人としての活躍、アスキー創刊、アスキーの債務超過と社長からの退任、孫正義や古川亨など同世代の人間とのつばぜり合いなど興味深い話が満載で楽しめる。個人的には、「私だけのマイコン設計&製作」の著者・松本吉彦の名前が登場するのがとても嬉しい。

横田 英史 (yokota@et-lab.biz)

1956年大阪生まれ。1980年京都大学工学部電気工学科卒。1982年京都大学工学研究科修了。  
川崎重工業技術開発本部でのエンジニア経験を経て、1986年日経マグロウヒル(現日経BP社)に入社。日経エレクトロニクス記者、同副編集長、BizIT(現xTECH)編集長を経て、2001年11月日経コンピュータ編集長に就任。2003年3月発行人を兼務。  
2004年11月、日経バイト発行人兼編集長。その後、日経BP社執行役員を経て、2013年1月、日経BPコンサルティング取締役、2016年日経BPソリューションズ代表取締役就任。2018年3月退任。  
2018年4月から日経BP社に戻り、日経BP総合研究所 グリーンテックラボ 主席研究員、2018年10月退社。2018年11月ETラボ代表、2019年6月当協会理事、現在に至る。

記者時代の専門分野は、コンピュータ・アーキテクチャ、コンピュータ・ハードウェア、OS、ハードディスク装置、組み込み制御、知的財産権、環境問題など。

\*本書評の内容は横田個人の意見であり、所属する団体の見解とは関係がありません。

